製造業 人財育成ガイド

こんなお悩みありませんか？

- スキルが属人化し継承が難しい
- 次世代リーダーが育たない
- 交代勤務で研修の機会が作れない

目次

Smart Boarding

■ 「製造業」における人財育成のお悩みは多様 P.03

■ データで見る「製造業」のお悩み P.04

■ 実際のお取組と解決事例のご紹介 P.05

CASE01 研修負担軽減とチームの連携強化を実現 P.06

CASE02 朝礼を活用したスモールステップで学びを習慣化 P.08

■ Smart Boardingがお役に立てる3つの理由 P.10

「製造業」における人財育成のお悩みは多様

Smart Boarding

「誰に何を学ばせる？」が曖昧に。

各階層ごとに必要な知識・スキルが整理されておらず、育成の方向性が不明確。

次世代リーダーが育たない

計画的なリーダー育成が進まず、管理職候補の不足が深刻化。

交代勤務で研修の機会が作れない

シフト制の影響で全員が同じ時間に研修を受けるのが難しい。

現場の業務が止められない。

研修計画を立てても、現場の負担が大きく、実施が後回しに。

OJT頼みで、教育が現場任せ

体系的な学習機会がなく、育成が個々の指導に依存している。

スキルが属人化し、継承が難しい

熟練者の技術が属人化し、次世代への伝承が難しくなっている。

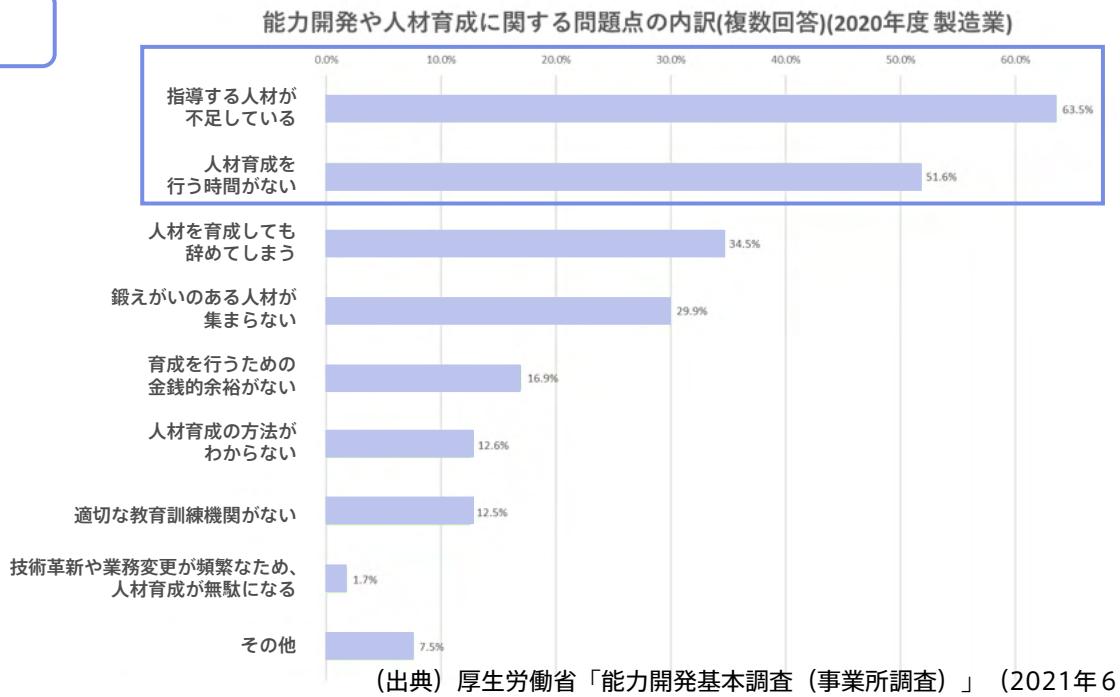
データで見る「製造業」のお悩み

Smart Boarding

製造業における、人材育成に関するお悩み

- **指導する人財の不足**
- **教育・研修を行う時間の不足**

が上位を占める。
また人財育成を行ったとしても
「すぐに辞めてしまう」といった
大きな問題も抱えている。



（出典）厚生労働省「能力開発基本調査（事業所調査）」（2021年６月）

Point

人財育成のための「人的リソースの不足」、そして教育担当者自身も、
日々の業務が忙しい中で「教える時間も取れない」といった問題が発生している。

Smart Boarding

実際のお取組と
解決事例のご紹介

CASE01
研修負担軽減とチームの連携強化を実現

CASE02
朝礼を活用したスモールステップで学びを習慣化

CASE 01

研修負担軽減と チームの連携強化を実現

Smart Boarding

■ 従業員数：300名　■ 事業内容：食品製造

課題

「教育の機会を作りたい。でも、現場は忙しい。」
ライン業務が優先される現場では、教育の時間を確保するのが難しく、社員のスキルアップが後回しに。

「紙の資料じゃ、管理が追いつかない。」
紙ベースの教育運用では、資料の管理や共有に時間がかかり、効率的な教育が実現できていない。

「若手の成長が見えにくい。」
キャリアパスが不透明で、若手社員が将来を描きづらい。結果として、部署間の連携や業務改善の動きも停滞している。
人事担当者として、これらの課題にどう対応するかが、組織全体の成長に直結します。

効果

現場からの改善提案が増加
オンライン学習の定着により、社員が主体的に業務改善を考えるように変化。 現場からの建設的な提案が増え、業務の効率化が加速。

研修準備や運用の負担を大幅に軽減！
紙資料の管理からデジタル運用に移行し、研修準備や進行の効率が向上。担当者の業務負担が削減され、教育の質を維持しながら運用がスムーズに。

チームの連携が向上し、職場環境が改善！
社内調査では、チーム間の連携意識や協力姿勢の向上が確認され、 部門を超えたコミュニケーションが活発に。働きやすい環境へと変化。

実際の取り組み3つのポイントとは？　次ページへ　＞

CASE 01

研修負担軽減と チームの連携強化を実現

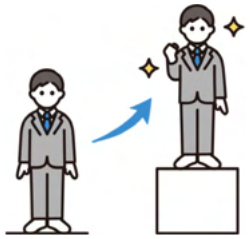
Smart Boarding

■ 従業員数：300名　■ 事業内容：食品製造

取り組みのポイント

01 いつでも、どこでも学べる環境を。

Smart Boardingの導入で、時間や場所に縛られずに学習が可能に。
オンラインで「教材」を配布・管理し、継続的な学びを実現。



02 成長の道筋を明確に。

役職やスキルレベルに応じた階層別プログラムを導入。
社員が自分に必要なスキルを体系的に習得できる環境を整備。

03 必要な情報を、必要なときに。

業務の基本ルールや重要知識を定期的に配信。
リアルタイムでの情報共有により、業務の精度と効率を向上。

CASE 02

朝礼を活用したスモールステップで学びを習慣化

Smart Boarding

■ 従業員数：80名　■ 事業内容：鋳造業

課題

時間がないから、学べない。

交代勤務やシフト制により、業務時間内での研修が困難。学ぶ機会が確保できず、社員のスキルアップが進まない。

「 技術はある。でも伝えられない。」

技術者は多いが、マネジメント層が不足。
スキルや知識の継承が進まず、組織の成長が停滞。

効果

「やらされる学び」から「自ら学ぶ文化」へ

「導入初期は会社主導で習慣化を推進。
今では社員がスキマ時間を活用し、主体的に学び続ける環境へと進化！

共通言語が組織を強くする！

キャリアマップと教育プログラムの導入で、
スキルや知識を共通言語化。
技術伝承もキャリアに紐づけて実施

実際の取り組み２つのポイントとは？　次ページへ　＞

CASE 02

朝礼を活用したスモールステップで学びを習慣化

Smart Boarding

■ 従業員数：80名　■ 事業内容：鋳造業

取り組みのポイント

01 「1日1動画」で学びを習慣化！

業務開始前に短い研修動画を視聴する仕組みを導入。
無理なく学習機会を確保し、日々の業務と両立しながらスキルアップ！

02 キャリアの道筋を明確に！

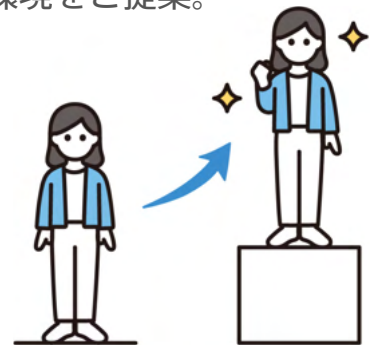
役職や階層ごとのスキルを可視化し、成長を支える教育プログラムを整備。社員がキャリアに応じて体系的に学べる環境を実現！

Smart Boardingがお役に立てる3つの理由

Smart Boarding

多様な勤務形態でも受講しやすい仕組み

5分～10分のマイクロラーニングで朝礼や、隙間時間でも学習可能！シフト制、交代勤務でも受講しやすい環境をご提案。



専任コンサルタントがご状況にあわせ伴走支援

電話・メール・WEB打ち合わせ対応可能！製造業の事例共有など、貴社の人財育成を全力サポート！

OJTや業務マニュアルも教育コンテンツ化できる

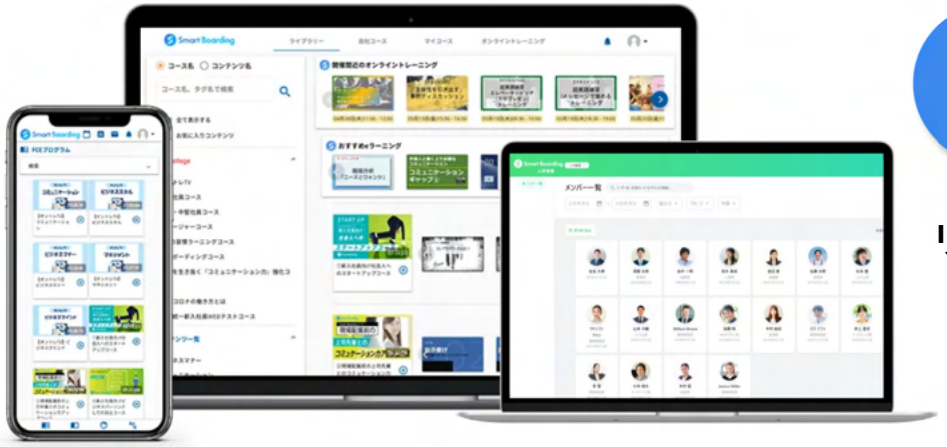
製造現場で教えているOJTの内容やバラバラに管理されているマニュアルも教育プログラム化をサポート。何度も教えるのが大変…を解決！

社員教育はもう失敗しない

人財育成プラットフォーム

Smart Boarding

人材管理　人材育成　人材評価



サービス説明資料はこちら ▶

リンクがクリックできない場合、下記のURLをブラウザに入力ください。
https://smartboarding.net/documents/651/

幅広い業界で導入実績がございます

Smart Boarding

累計導入社数 ※1

※2024年11月現在

1,200社突破

継続率 ※2

※2 2022年10月～2023年9月の期間にSmart Boardingを契約中の企業数の中から1-（チャーンレート）を算出し百分率で表現（小数点第2位を四捨五入）した数値。株式会社FCEの調査による。

99% 持続率

研修満足度 ※3

※3 2022年10月～2023年9月の期間にオンライントレーニング参加者満足度アンケートの評価より全有効回答中「良い」「非常に良い」項目の占める割合を百分率で表現（小数点第1位を四捨五入）した数値。株式会社FCEの調査による。

95% ★★★ 満足度

セキュリティ

ISMS-AC

株式会社FCEは、2023年8月26日に国際規格「ISO/IEC 27001:2013」情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を取得しております。
▼適用規格 JIS Q 27001:2013
▼認証登録番号:C0780836-IM 1

JPX

株式会社FCEは、2022年10月27日東京証券取引所スタンダード市場へ上場しております。
■日本取引所グループ「新規上場会社情報」ウェブサイト
https://www.jpx.co.jp/listing/stocks/new/index.html

Yakult

Panasonic Homes

瑞穂市

ユニスマイル

HYPER

大林組 OBAYASHI

えき、街、暮らしのとなりに
JR西日本不動産開発株式会社

Mountain, Ocean & Sun

多数の「製造業」の企業様から
お選びいただいております！

Smart Boarding

健康にアイデアを meiji

FUJI innovative spirit

メイラ

FOT

東洋電機

あそびましょ。 AKAGI

湖 KOIKEYA

TVE Challenge for the NEXT

NES

株式会社立花電子ソリュ-ションズ

TESCOM

\ BOXIL SaaS AWARD /

Good Service賞 受賞

Good Service Summer 2024

- 口コミ項目No.1!
- 9項目中、7項目で受賞！

サポートの品質 No.1 Winter 2022
サービスの安定性 No.1 Autumn 2022
機能満足度 No.1 Autumn 2022
料金の妥当性 No.1 Winter 2022
初期設定の容易さ No.1 Winter 2022
カスタマイズ性 No.1 Spring 2024
営業担当の印象 No.1 Winter 2022

導入後、充実のサポートが期待できるeラーニング No.1

社員教育に悩む企業におすすめのオンライン社員研修 No.1

経営者が支持する企業向けオンライン研修 No.1